

体験活動参加型＋講演会型（小学校）

| | |
|---|--|
| 学 校 名 等 | 神戸町立北小学校 |
| 実 施 日 時 | 平成29年10月14日(土)9:25～10:10 |
| 会 場 | 北小学校 理科室 |
| 参 加 人 数 | 4年生親子(児童29名、保護者20名) |
| 学習課題(分野) | いのちの授業 |
| 運営者の願い | 10歳の子どもたちを基本に、「いのち」とは何か、「ゆるす」勇氣を持つことの重要性、自分たちが愛されている存在であることを感じてもらい、また、家族の役割について再確認していただき、学校・家庭での「いのち」を考えるキッカケのお手伝いをする。 |
| 学 習 の 内 容 | |
| <p><授業の流れ> NPO 法人エフ・フィールドさんの専任スタッフによるいのちの授業。</p> <p>1. 日野原重明氏の体験を元に制作されたDVD「十歳のきみへ いのちの授業」の鑑賞。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・百歳を過ぎた現役のお医者さん、日野原重明先生の幼少の体験に基づいたお話。 ・アニメーション化されており、日常に起こった出来事から当時の先生の気持ちや伝えられている。 <p>2. 聴診器を使い、実際に自分の心臓の音を聴く。そのあと家族や友達の心音も聴いてみる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の心音が1分間に何回打っているか、どんな音だったか、友達や家族の心音と違うか、などを確認する。 <p>3. 日野原先生からのメッセージの確認</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5つのメッセージから先生が伝えたいことを何かを考える。 <p><閉会> 最後に全員で5つのメッセージを読み上げ終了。</p> <p><アンケートより></p> <p>★児童</p> <ul style="list-style-type: none"> ・私の心臓はこんな速さで動いているんだと分かった。 ・心臓が「ドクドク」といっていて「これが動いていることやな」と思いました。 ・暴力、仕返しなどはせずに相手をゆるすことをしていきたい。そうすればけんかがなくなると思う。 ・お父さんやお母さんに感謝の気持ちが伝わるように生きたいと思いました。 <p>★保護者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・普段の生活でいのちについて考えることはなかなかない。子供といのちについて話せるきっかけになりました。 ・5つのメッセージの中で、いのちは「時間」だというのが特に心に残りました。限りある時間を大切に日頃から心に留めて生活していきたいと思いました。 ・しゃぼん玉のうたの由来を知り、聞くときに毎回考えるようになると思う。 ・子ども達にも分かり易くて心音が聴けて良い体験が出来ました。 <p><振り返って> 今回の講演を依頼するにあたり、親子で共に何かを考える機会を作りたいと思い、この「いのちの授業」にたどり着きました。保護者の方がどれだけ参加してくれるだろうか、子供たちにわかるだろうか、など気になっていましたが、当日は多くの保護者の方と共に子供たちが真剣にDVDを観る姿や目を閉じて心音を聴く姿が見られて、この授業で良かったと思えました。</p> | |



5つのメッセージ

- ① 自分が持っている「いのち」を大切に
- ② 家族や友だちのことも大切にできる
- ③ いのちは「時間」
- ④ 人にために、自分の時間を使える人になってほしい
- ⑤ 「ゆるす」ということ

